

科目名		実習ゼミⅤ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
救急医学を理解し、患者の急変時に対応できる知識・技術を習得する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
救急医療に必要な知識に対しての講義、患者の急変時での基礎的な観察・処置を実習で実施。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
患者の急変時に対して、的確な観察・判断・処置ができる。									
回数	講義内容								
1	バイタルサインの観察/全身観察								
2	全身観察								
3	心電図の読み方								
4	ショックの分類								
5	骨折固定法、止血法、ネックカラーの使用方法								
6	脳血管障害・痙攣発作への対応、熱傷の判断と対応								
7	心肺蘇生法；成人								
8	心肺蘇生法；成人、AED								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
なし・配布プリント									
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。									